

## 就活日誌

決定先：他大学大学院（公共政策大学院）

公共政策大学院とは：

世間一般に認知度は低いが法化大学院・会計大学院のような専門職大学院である。一般的には政策や法律について学び、政策提案等実践的な学習をするところが多い。公務員になるために実践的に政策・法律を学ぶ公務員のための大学院といえる。

公共政策大学院を選んだ理由：

将来公務員になりたいという目標があり、その中でも地方公務員で生まれ故郷をよりよい環境を構築したいと思っていた。よって、不況や就職難とは関係なしに自分のスキルアップのために公共政策大学院で将来に備え学びたかった。

3年次：

2008年6月 A 大学公共政策大学院 2009年度入学者説明会に参加  
レベルが非常に高く、また自分が目指している地方公務員よりは国家公務員に適した大学院であると強く感じた。

2008年8月 B 市役所インターンシップ（1週間）  
公務員の仕事というよりも社会人としての仕事の重要性や責任を最も感じた。仕事内容や職場環境からも公務員も仕事も私たちの生活に密にかかわっていると思った。

4年次：

2009年5月 C 大学公共政策大学院 教授に直接アポイントをとる

6月 C 大学同大学院 見学  
見学で大変面倒見のよい大学院であると感じ、実践的な経験を重要視している大学院だったのでやる気が沸いた。

9月 C 大学同大学院 入学試験  
入試科目：論文（字数制限なし）  
面接（1時間程度）

手ごたえは不合格だと思った。

論文に関しては選択式で私は国際関係の分野から文科省の中国派遣の問題を選んだが、出題者の意図とは違う論述を展開してしまった。それを面接時に指摘され愕然とした。しかしながら、面接に関しては自分の思いのたけをぶつけることができたと感じる。

10月 入学試験合格発表